

新型コロナウイルス、変異株疑い増加で第4波感染爆発の恐れ

佐賀県の新型コロナウイルス変異株疑い83%に!!

新型コロナウイルスは今年4月に入り全国的に感染拡大し、大阪、兵庫、京都などの感染爆発を受けて、日本政府は4月25日から3回目の緊急事態宣言を発令しました。この第4波は佐賀県においても1日の感染者数が更新される日が出ています。また県の4月27日の発表によると、4月18～24日の1週間に感染が確認された人のうち、77人に変異株かどうかを調べるスクリーニング検査を実施したところ、64人が陽性で、変異株疑いの割合は83.1%になっています。厚生労働省では「N501Yの変異がある変異株(イギリス型)」は、従来株よりも、感染しやすい可能性があり、重症化しやすい可能性も指摘されています。

今年のゴールデンウィークは「コロナ疲れ」と言われ、緊急事態宣言中でも観光地などはかなりの人手でした。変異株の増加や人流の増加で今後の感染爆発を恐れられています。改めて透析患者、腎移植者の皆さんに呼びかけます。透析患者や免疫抑制剤服用者は感染すると重症化すると言われています。現に感染した透析患者の1割強の方が亡くなっていますし、高齢になればなるほどその割合は高いです。患者自身の体は自分や家族で守ることが重要です。全国で緊急事態宣言が広がろうとしている今、改めて感染拡大防止のために一人ひとりがウイルスをもらわない、他人にうつさないという意識をもち感染予防の徹底をお願いします。

※改めてお願いします。新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を!!※



- できるだけ部屋の換気をしましょう。 ●人との間隔はあけましょう。
- カラオケや飲食などマスクを外す場面が多い場所は、当面利用を控えること。
- ウイルスをもらわない、他人にうつさないという意識を持つことが大切です。